

ツーリスト・ビヘイビアの理解と研究

Understanding Tourist Behavior



永井 隼人
NAGAI Hayato

准教授

Associate Professor

専門領域 Areas of expertise

■旅行者行動

Tourist Behavior

■観光マーケティング

Tourism Marketing

■デスティネーション・マネジメント

Destination Management

主な担当科目 Subjects

■Tourist Behavior

■Event Management

■Principles of Tourism A

研究活動 Research

ツーリスト(旅行者)はなぜ旅行に行くのか、どのようにデスティネーション(目的地)を決めるのか、どのように必要な情報を収集するのかなど、主にツーリストのビヘイビア(行動)に着目し研究を行っています。現在取り組んでいる主な研究プロジェクトとしては、訪日外国人旅行者の自然災害など様々なリスクに対する知識や行動に関する研究、若年層旅行者(ワーキング・ホリデー、教育旅行など)の渡航先での行動や経験に関する研究などがあります。また、国内外のDMO(Destination Management Organization)に関する研究や、メガ・イベントに関する研究など、デスティネーション・マネジメントに関連するテーマの研究にも、国内外の共同研究者と取り組んでいます。研究の成果はツーリズム研究の国内外の学会や国際ジャーナルなどで積極的に発表を行っています。



TTRA-APacカンファレンスでの研究発表(2016年12月, アラブ首長国連邦・ドバイ)



CAUTHEカンファレンスでの研究発表(2018年2月, オーストラリア・ニューカッスル)



TTRA-APacカンファレンスでの研究発表(2018年12月, ベトナム・ホーチミン)

ゼミ活動 Education

3年次のゼミでは、まず文献の収集方法やアカデミック・ライティング、研究計画の立て方など研究に必要な基礎的知識の習得を目指します。また観光学の基礎的な理論やツーリストの行動、観光マーケティングやマネジメントに関する主要な文献(日本語・英語)の講読、国内外の研究者との交流を通じて多様な視点から観光を取り巻く現状を理解し、4年次の卒業論文研究に備えます。永井ゼミでは観光学部グローバル・プログラム(GP)登録学生、また英語での卒業論文執筆を希望する学生を積極的に受け入れています。毎年後期には、立命館アジア太平洋大学や琉球大学、山口大学等の観光・ホスピタリティ関連ゼミと合同で学生シンポジウムを開催し、研究成果の発表や研究交流にも力をいれています。



クイーンズランド大学(オーストラリア) プレント・リッチー教授によるCTRセミナー出席



国立東華大学(台湾)陳意玲助理教授によるCTRセミナー出席



カルロ・カッターネオ大学(イタリア) ニッコロ・コメリオ氏によるCTRセミナー出席

卒業論文/修士論文テーマ Thesis

- チョコレートと観光 ー北海道におけるチョコレート・テーマパークを事例に (卒業論文)
- Decentralizing tourists from Sapporo to other destinations in Hokkaido (卒業論文)
- The development of inbound tourism and tax-free shopping in Japan : An analysis of a major financial newspaper (卒業論文)
- Kansai on Instagram : A pictorial analysis of projected and perceived destination image (修士論文)

